

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 4 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '学校施設開放事業 (岩瀬)' and '生涯スポーツ活動の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about school facility opening and sports promotion.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '開放学校数', '桜川市人口', and '利用者'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (正規職員, 従事者, etc.) for 27 and 28 fiscal years.

Table showing internal cost breakdown (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, categorized by 07 賃金.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of activities with an arrow pointing to '市長マニフェスト'.

事務事業名	学校施設開放事業（岩瀬）	事務事業No.	30402000090	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

- ・スポーツ団体の活動場所の確保をするため。
- ・市民の体力づくり、健康づくりと地域のコミュニケーション促進を目的に開始された。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・スポーツ団体の増加によりスポーツ人口も増加し年間利用日数は年々増加しているが、料金がかからないため他の施設利用者から不満の声がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	スポーツを実践する機会が増え、健康増進につながり地域のコミュニケーションに結び付いている。「生涯スポーツ活動の推進」「市民が、スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来る」に結び付くことができる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	無駄のない施設利活用のための利用調整の密度を上げる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的手段、事務事業名 特に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は管理人に対する賃金が大きく占めている。管理方法について、住民の協力などを得ることが可能であれば、事業費の削減は可能であるが、困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	学校施設の利用料金は無料であるが、他の体育施設については、有料となるため、施設の利用管理を含め今後見直しを行う。（学校開放委員への委嘱）

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市民がスポーツを実践し、地域のコミュニケーションの場となり健康増進にもつながっている。無駄のない施設利活用ができるよう利用調整の精度をあげる。管理体制の見直しをすることも経費削減の方法である。施設利用は市民誰もが利用でき無料である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
学校開放は、既存の利用団体がほぼ固定されており、新規団体が利用しにくいのが現状である。そこで、施設利用の公平、平等という観点から使用日数の調整を図り、市民の公平な利活用を実現するため、開放運営委員会において、希望する団体に対応できるように検討して行く。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>